

クラス担任通信

院内実習がはじまって

学内生活・臨床実習風景

気温も湿度も落ち着き、過ごしやすい季節になってきました。インフルエンザを始めとする感染症にも気を付けなければいけない季節でもあります。本年は、新型コロナウイルスもあり、より注意が必要になっています。

さて本年は、8月3日から臨床実習が開始となりました。昨年度の臨床実習と大きく異なる点としては、まず控え室となる講堂は、ソーシャルディスタンスを取った学校生活を過ごせるよう新病院7階にある創設百周年記念講堂(左上写真)を使用しています。また実習中に使用する防護器具も感染を留意し、講堂の前に保管場所を設置しております(右上写真)。

病院内での実習は、感染を考慮し、診療介助等はなく、見学実習になっており、教育診療医、患者様とは一定の距離を取り、見学しています(下写真)。介助等の研修はできませんが、逆に集中して診療の手技を勉強している姿が見受けられています。

大きく環境が変化する学内生活ですが、今後もより感染に気を付けていく中で、充実した学生生活を過ごせるようにサポートして参ります。

学年主任, クラス担任の紹介

主任	米山 隆之	教授	歯科理工学
担任	澤田 久仁彦	専任講師	歯科放射線学
担任	関野 麗子	助教	歯科麻酔学
担任	安田 裕康	助教	歯科補綴学Ⅱ

【米山主任】

CBTとOSCEにパスして、いよいよ臨床実習が始まりました。これまでに身に着けた知識、技術、態度を基礎に、Student Doctorとして臨床を学ぶ新しいステップです。学修サイクルが大きく変化し、あっという間に1年が過ぎてしまいますので、意欲的に課題に取り組むとともに、国試への備えも怠らずに充実した1年を送ってください。

【澤田担任】

いよいよ臨床実習が始まります。4年間で学んだ講義(知識)と実習(技術)で得たものを実践的に学修する学年です。CBT、OSCEでの経験を生かして乗り越えてください。歯科医師になる意識をより高めて、充実して過ごせるよう担任としてサポートします。

【関野担任】

新第5学年の皆さん、CBTとOSCEの難関を突破しての進級おめでとうございます。4年生までで学んできた知識と技術を



十分に活かして院内実習に臨んで下さい。5年生は将来の自分の歯科医師像が少しずつみえてくる学年でもあります。心身ともに充実した1年になることを期待しています。

【安田担任】

第5学年は、今まで学んできた知識や技術を実際の臨床実習で活かし、また多くの先生と接する機会があり、歯科医師になる意識を高められる学年であります。そのような大切な1年を充実して過ごせるようサポートしていきます。

学年主任からひとこと

今年度は、コロナ渦の影響で大きくカリキュラムの運営が変更になっています。院内実習は少人数の入替え制で、消毒・清拭を十分に行い、ソーシャルディスタンスを保ち、運営しています。また、講義は遠隔授業となり、講義をリモートで受講し、毎授業ごとに課題を提示し、解答し提出することになっております。

感染拡大予防措置として、教職員および院内生・学生の毎朝の検温と体調を健康調査票として記録し、健康状態を管理して対応しています。恒例の父母懇談会が中止になり、情報の共有が困難となっておりますが、できるだけ対応して参りますので今後ともよろしくお願いいたします。